

平成 30 年度シラバス

教科	科目	単位数	履修学年・クラス
外国語	コミュニケーション英語 I (習熟)	2	1-2~1-6

1. 学習の到達目標

- ・英文法の基本事項 (中学英語) の確認と徹底を図った上で、高校英語を充実させる。
- ・習熟度編成の主旨が生きるように、それぞれのクラスで創意工夫した授業をする。
- ・辞書の使い方を学ぶ。
- ・授業を通して、人権問題等を考える機会を持つ。

2. 学習の計画

	学 習 内 容	学 習 の ね ら い
1 学 期	2.be 動詞 3.一般動詞の現在形 4.動詞の過去形 中間考査 7.命令文 8.現在進行形 9.過去進行形 10.未来表現 11.疑問詞(1) 12.疑問詞(2) 期末考査 14.助動詞	* be 動詞・一般動詞の復習と発展 * 動詞の現在形と過去形を覚える * 命令文、進行形の形を覚え英作文できる * 未来形の形を覚え英作文できる。 * さまざまな疑問詞を覚え、疑問文を作る * さまざまな意味の助動詞を覚え、使うことができる
2 学 期	15.to 不定詞(1) 16.to 不定詞(2) 17 動名詞 19.比較 中間考査 24.受け身 25.現在完了形(1) 26.現在完了形(2) 期末考査	* 不定詞の 3つの用法を覚え、英作文できる * 動名詞の用法を覚え、英作文できる * 原級、比較級、最上級の形とそれを使った表現を覚える * 受け身の用法を覚え、英作文できる * 現在完了形の復習と応用力の定着
3 学 期	27.現在分詞 28.過去分詞 29.関係代名詞(1) 30.関係代名詞(2) 学年末考査	* 分詞の用法を覚え、英作文できる * 関係代名詞の復習と応用 * これまで学んだことを英文の中で復習する。

3. 評価方法・評価の観点

評価方法	考査による評価、提出物等の授業態度による総合評価
------	--------------------------

評価の観点	関心・意欲・態度	表現の能力	理解の能力	知識・理解
評価の内容	コミュニケーションに関心を持ち、積極的にコミュニケーションを図ろうとする	英語を用いて、自分の考えなどを話したり、書いたりする	英語を聞いたり、読んだりして、話し手や書き手の意向などを理解する	英語の学習を通じて、言葉とその背景にあるものの考え方や文化などを理解し、知識を身に付けている

4. 使用教科書・副教材

使用教科書	Reach for the Big Dipper - 英語の基礎定着ノート - (数研出版)
副教材	英和辞書「The New Victory Anchor」、辞書は友達 (学研) ESSENTIAL WORDS① (中部日本教育文化会)